

第6回 地域課題から世界を考える日

研究推進部長 丹生 憲一

本日、「地域課題から世界を考える日」を開催します。「第6回」という呼称から分かるように、本校が「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」はもちろん、その前身である「Super Global High School（SGH）」アソシエイト校、「ひょうごスーパーハイスクール」などの指定を受ける前から行われている校内発表会です。元々は、知の探究コースの1,2年生が3月上旬に開いていたものですが、1昨年から全校行事となりました。初年度は丹波の森公苑のホールを会場としましたが、昨年度からは新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン開催としています。「地域課題から世界を考える日」という呼称は、前探究推進部長を務めておられた吉田究先生の命名です。この名前に導かれるように、柏原高校は地域（ローカル）の課題を世界（グローバル）視野で考える探究活動を推し進めてきました。前置きが長くなりましたが、タイトルに込められた思い、期待を今一度かみしめながら、今日の発表会に臨んでください。

今回の発表会では1学年から5組（一般クラス3組、知の探究コース2組）、2学年から7組（一般クラス3組、知の探究コース4組）の代表発表に加えてGlocal High School Meetings 2022（全国のグローバル型指定校の発表会）で入賞した2組の発表を行います。英語部門では3年1組の小川美那さんが3年間続けたプラスチックゴミ削減についての研究を発表し、銅賞を受賞。日本語部門では2年1組のひと班が、地域に暮らす外国人とのまちあるきをテーマに発表し、金賞・文部科学省初等中等教育局長賞を受賞しました！これは全国1位にあたる賞です。皆さんとともに喜びたいと思います。おめでとうございます！

1学年の5組は **K★ing**でも紹介し続けてきた「地域の魅力をおすそ分け」で取り組んだ成果の発表です。一般クラスからは「丹波布」「黒豆」「小豆」の魅力を自分達から広めていこう、知の探究コースからは「サイクリング」「まちあるき」を取り入れて、丹波に来る人を増やそうという提案がなされます。地域の方々から話を聞き、フィールドワークに出向き、自分達の考えた事に助言を受け、発表会ごとにバージョンアップしてきた成果が見られることでしょう。

2学年の7組のうち、「丹 BAL 台湾」の3組は今週代表が決まりました。クラス発表、学年発表を経て決まる予定でしたが、自宅学習期間で授業がなくなったために、思うように準備ができなかったかもしれませんが、25日（火）には立派な発表ができました。こちらは、地域から日本、世界に目を向け「防災」「コロナ対策」が主な話題となったようです。例年は「台湾についてわかったこと」についての発表でしたが、修学旅行で防災について学び、台湾の高校生との交流でも地震や火山、コロナ禍の生活が話題になっていただけに、「外国と比較して学んだこと」という視点が得られたようです。

探究Ⅱではさらにテーマが広がります。「カンボジアの教育」「数学における教育法」「HSP（Highly Sensitive Person）」「方言」…と、ローカルでもグローバルでも考えられる問題です。一つ目の班は、実際にカンボジアで使用されている教科書を取り寄せて、クメール語で書かれたものを解読しようとしていたようです。「協働学習」は、最近教室でよく見られますが、その「及ぼす影響」は？「HSP=非常に感受性が強く敏感な気質を持った人」という言葉は知っていましたか？丹波の方言といえば、最近「chatta T シャツ」なるものが売られているようですが、今回提案される「活用法」とは？

視聴者のみなさんには、ワークシートの最後に、「今回の発表を聴いて自分が取り組みたいと思った、または興味を持った地域・世界の課題は何ですか？」というお題を出しました。ぜひ、一緒に考えましょう！



（「長崎さるく的まちあるき」班のみなさん：撮影のためマスクは外しています）

本日のプログラム

8:35 各 HR 教室 接続開始 ワークシート配布

9:00 開会挨拶 大垣 喜代和 校長先生

9:10 1 学年 丹 BAL 1 発表 (発表時間 5 分 質疑応答 5 分)

- (1) 「丹波布で地域の活性化に取り組む」
- (2) 「丹波の黒豆をもっと身近に」
- (3) 「AZUKI」
- (4) 「丹波市の観光人口をどうすれば増やせるか？」
- (5) 「アウトドアで丹波を活性化」

講評 鴻谷 佳彦様 (imagine 丹波代表)

(休憩)

10:25 2 学年

丹 BAL 台湾 発表 (発表時間 5 分 質疑応答 5 分)

- (1) 「日本と世界の防災」
- (2) 「感染者数が多い国と少ない国の違い～今の日本に必要なことは～」
- (3) 「球磨川の水害と市島の水害から学ぶ防災」

探究Ⅱ発表 (発表時間 10 分 質疑応答 5 分)

- (1) 「カンボジアの算数教育から学ぶ」
- (2) 「数学における協働学習が生徒に及ぼす影響について」
- (3) 「HSP と上手に付き合う方法」
- (4) 「方言をどのように次世代に伝えどのように活用するか」

(休憩)

12:00 Glocal High School Meetings 2022 受賞作品 発表

「Making Changes with Our Own Two Hands」(英語部門銅賞 受賞作品)

「長崎さるくめまちあるきの実践 ～学校での共通体験を通じた在丹外国人との信頼関係構築のために～」(日本語部門金賞・文部科学省初等中等教育局長賞 受賞作品)

12:25 講評 高畑 由起夫様 (関西学院大学 フェロー)

12:35 ワークシート回収・終了